

看護学部／看護学科	職名	講師	氏名	塩田 昇
-----------	----	----	----	------

1. 教員紹介・主な研究分野

産業医科大学医療技術短期大学看護学科卒業後、産業医科大学病院（集中治療室）で看護師を6年経験した後、専門学校、大学で18年間の勤務を経て平成29年に福岡県立大学に着任しました。

研究は、養育レジリエンス・睡眠をキーワードに、親の養育レジリエンスについて発達障がいのある子どもをもつ親を対象に養育レジリエンスが向上する要因、そして発達障がいのある子どもの親とその子どもの睡眠問題を明らかにすることです。

2. 研究業績

① 最近の著書・論文

- ・ 塩田昇，廣瀬理絵，松山美幸，加藤法子，藏元恵里子，田中美智子，江上千代美「陣痛促進剤による薬害被害者」の講演を聞いた学生は薬害防止に向け何を思い・感じたか，福岡県立大学看護学研究紀要19巻，77-87(2022)．
- ・ 江上千代美，田中美智子，桑野瑞恵，塩田昇，山下裕史朗．ポピュレーションアプローチを目指した地域での前向き子育ての実践．小児保健研究80(3):303-306(2021)．
- ・ 江上千代美，塩田昇(2020)．Child Adjustment and Parent Efficacy Scale－Developmental Disability (CAPES-DD)の日本語版作成の試み福岡県立大学看護学研究紀要，17, 37-45．
- ・ 江上千代美，塩田昇，恵良友彦，田中美智子(2020)．発達障がいのある児の母親の養育レジリエンスの向上を目指して－Stepping Stones Triple P (トリプル P) による RCT を用いた試行的介入－，福岡県立大学看護学研究紀要，17, 1-4 ．

②その他最近の業績

〈学会発表〉

- ・ 発達障がいのある子どもの親へのトリプルPによる支援がストレスに及ぼす影響．塩田昇，江上千代美，田中美智子．第42日本看護科学学会学術集会．オンデマンド．2022．
- ・ 発達障がいのある子どもの母親の養育レジリエンスの違いとストレスへの影響－POMS、唾液コルチゾール－．江上千代美，塩田昇，田中美智子．第42回日本看護科学学会学術集会．オンデマンド．2022．
- ・ 母親の睡眠関連問題とその学童期の子どもの睡眠習慣の検討．塩田昇，江上千代美．第47回日本看護研究学会学術集会．オンデマンド．2021．
- ・ 看護学生の倫理観を養う教育内容の検討－「薬害被害者」の講演をとおして－．廣瀬理絵，塩田昇，江上千代美，田中美智子．第46回日本看護研究学会学術集会．オンデマンド．2021．

③過去の主要業績

- Shiota N, Narikiyo K, Masuda A, Aou S. Water spray-induced grooming is negatively correlated with depressive behavior in the forced swimming test in rats. J Physiol Sci. vol166 no3, p265-73. 2016.
- 塩田昇. セルフケア行動の神経行動学的・神経化学的研究. 九州工業大学大学院博士論文. 2016.

3. 外部研究資金

- 科学研究費助成事業（基金分）（若手 平成29年度～令和4年度 交付金額4,160千円）
研究課題, 継続的なトリプルP介入による睡眠の質, 量の改善とメラトニン分泌・代謝に関する研究（研究代表者：塩田昇）
- 科学研究費助成事業（基金分）（基盤研究C 令和4年度～7年度）親支援プログラム受講によって保護者は地域の子育て支援資源と積極的につながれるか（研究分担者：塩田昇）

4. 受賞

5. 所属学会

日本看護学教育学会会員, 日本看護研究学会会員, 日本看護技術学会会員, 日本看護科学学会, 日本生理学会会員, 日本心身医学会会員, 日本公衆衛生学会

6. 担当授業科目

生態機能看護学Ⅰ・2単位・1年次・前期, 生態機能看護学Ⅱ・2単位・1年次・後期, 生態機能看護学Ⅲ・1単位・4年次・後期, 生態病態看護学実験・1単位・2年次・前期, 病態看護学Ⅱ・2単位・2年次・前期, 基礎看護学実習Ⅰ・1単位・1年次・前期, 基礎看護学実習Ⅱ・2単位・2年次・通年, 統合実習・2単位・4年次・通年, 看護倫理学・2単位・2年次・前期, 専門看護学ゼミ・2単位・3年次・通年, 卒業研究・2単位・4年次・通年

7. 社会貢献活動

子育て支援活動：久留米市・香春町

8. 学外講義・講演

（高校訪問）九州国際大学附属高等学校、門司学園高等学校、田川高等学校、筑紫中央高等学校、武蔵台高等学校

9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員